【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成26年9月18日(2014.9.18)

【公開番号】特開2013-36870(P2013-36870A)
【公開日】平成25年2月21日(2013.2.21)
【年通号数】公開・登録公報2013-009
【出願番号】特願2011-173616(P2011-173616)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｊ　1/02　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　37/02　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/33　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｊ　1/02　Ｃ
Ｈ０１Ｌ　37/02
Ｈ０４Ｎ　5/33

【手続補正書】
【提出日】平成26年7月31日(2014.7.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
基体と、
第１面及び前記第１面の反対側に前記基体に向く第２面を有する支持部と、
前記支持部の前記第１面の側に位置し赤外線を検出する検出部と、
を含み、
前記支持部の前記第２面の側に、光放射低減膜が配置されたことを特徴とする赤外線検出素子。
【請求項２】
請求項１に記載の赤外線検出素子であって、
前記基体と前記支持部との間に空洞が配置されたことを特徴とする赤外線検出素子。
【請求項３】
請求項１または２に記載の赤外線検出素子であって、
前記光放射低減膜は、Ｐｔ、Ａｌ、ＡｌＯｘ、Ｎｉ、Ｗ、Ｍｏ、Ｆｅのいずれか１つを含むことを特徴とする赤外線検出素子。
【請求項４】
請求項１～３のいずれか一項に記載の赤外線検出素子であって、
前記基体において前記支持部と対向する側には、赤外線吸収低減膜が配置されたことを特徴とする赤外線検出素子。
【請求項５】
請求項１～４のいずれか一項に記載の赤外線検出素子であって、
前記赤外線吸収低減膜は、Ｐｔ、Ａｌ、ＡｌＯｘ、Ｎｉ、Ｗ、Ｍｏ、Ｆｅのいずれか１つを含むことを特徴とする赤外線検出素子。
【請求項６】
請求項１～５のいずれか一項に記載の赤外線検出素子であって、
前記検出部は、Ｓｉ、ＳｉＮ、金黒膜のいずれか１つを含む赤外線吸収膜を備えること

を特徴とする赤外線検出素子。
【請求項７】
請求項１～６のいずれか一項に記載の赤外線検出素子であって、
前記検出部と接続する配線を備え、前記配線は前記光放射低減膜に覆われることを特徴とする赤外線検出素子。
【請求項８】
赤外線を検出する光検出部を備える電子機器であって、
前記光検出部に請求項１～７のいずれか一項に記載の赤外線検出素子を備えることを特徴とする電子機器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明は、上述の課題の少なくとも一部を解決するためになされたものであり、以下の形態または適用例として実現することが可能である。
本発明の赤外線検出素子の一態様は、基体と、第１面及び前記第１面の反対側に前記基体に向く第２面を有する支持部と、前記支持部の前記第１面の側に位置し赤外線を検出する検出部と、を含み、前記支持部の前記第２面の側に、光放射低減膜が配置されたことを特徴とする。